京城日報
本日朝夕刊共十頁

皇威昭々・けふ大詔奉戴一周年

詔書

天佑ヲ保有シ萬世一系ノ皇祚ヲ踐メル大日本帝國天皇ハ昭ニ忠誠勇武ナル汝有衆ニ示ス

朕茲ニ米國及英國ニ對シテ戰ヲ宣ス朕カ陸海將兵ハ全力ヲ奮テ交戰ニ從事シ朕カ百僚有司ハ勵精職務ヲ奉行シ朕カ衆庶ハ各々其ノ本分ヲ盡シ億兆一心國家ノ總力ヲ擧ケテ征戰ノ目的ヲ達成スルニ遺算ナカラムコトヲ期セヨ

抑々東亞ノ安定ヲ確保シ以テ世界ノ平和ニ寄與スルハ不顯ナル皇祖考不承ナル皇考ノ作述セル遠猷ニシテ朕カ拳々措カサル所而シテ列國トノ交誼ヲ篤クシ萬邦共榮ノ樂ヲ偕ニスルハ之亦帝國カ常ニ國交ノ要義ト爲ス所ナリ今ヤ不幸ニシテ米英兩國ト釁端ヲ開クニ至ル洵ニ已ムヲ得サルモノアリ豈朕カ志ナラムヤ中華民國政府曩ニ帝國ノ眞意ヲ解セス濫ニ事ヲ構ヘテ東亞ノ平和ヲ攪亂シ遂ニ帝國ヲシテ干戈ヲ執ルニ至ラシメ茲ニ四年有餘ヲ經タリ幸ニ國民政府更新スルアリ帝國ハ之ト善隣ノ誼ヲ結ヒ相提攜スルニ至レルモ重慶ニ殘存スル政權ハ米英ノ庇蔭ヲ恃ミテ兄弟尚未タ牆ニ相鬩クヲ悛メス米英兩國ハ殘存政權ヲ支援シテ東亞ノ禍亂ヲ助長シ平和ノ美名ニ匿レテ東洋制覇ノ非望ヲ逞ウセムトス剩ヘ與國ヲ誘ヒ帝國ノ周邊ニ於テ武備ヲ増強シテ我ニ挑戰シ更ニ帝國ノ平和的通商ニ有ラユル妨害ヲ與ヘ遂ニ經濟斷交ヲ敢テシ帝國ノ生存ニ重大ナル脅威ヲ加フ朕ハ政府ヲシテ事態ヲ平和ノ裡ニ回復セシメムトシ隱忍久シキニ彌リタルモ彼ハ毫モ交讓ノ精神ナク徒ニ時局ノ解決ヲ遷延セシメテ此ノ間却ツテ益々經濟上軍事上ノ脅威ヲ増大シ以テ我ヲ屈從セシメムトス斯ノ如クニシテ推移セムカ東亞安定ニ關スル帝國積年ノ努力ハ悉ク水泡ニ歸シ帝國ノ存立亦正ニ危殆ニ瀕セリ事既ニ此ニ至ル帝國ハ今ヤ自存自衞ノ爲蹶然起ツテ一切ノ障礙ヲ破碎スルノ外ナキナリ

皇祖皇宗ノ神靈上ニ在リ朕ハ汝有衆ノ忠誠勇武ニ信倚シ祖宗ノ遺業ヲ恢弘シ速ニ禍根ヲ芟除シテ東亞永遠ノ平和ヲ確立シ以テ帝國ノ光榮ヲ保全セムコトヲ期ス

御名御璽

昭和十六年十二月八日

社説　感激更に新なり

米英に對する宣戰の詔書を奉戴してより茲に一歳、あの日あの時、一億國民の胸中から湧の如く湧き起つて嚇々の焔と共に噴射されし驕敵の雄叫びは未だ吾人の耳底を去らざるに、星霜移つて早くも再び十二月八日を迎ふ。稜威の下の感慨の去來するを禁ずる能はず。

此の間大御稜威の下皇軍將兵により空に海に陸に打ち樹てられし不滅の戰果の如何に大なりしことよ。米國太平洋艦隊の主力は海鷲と特殊潜航艇の好餌となりて開戰劈頭その大部分を喪失し、續いて英國が不沈の浮城と誇號せし二大戰艦もまた旬日を出でずして馬來沖の海底深く葬られたり。制海、制空の兩權を握つて陸軍は馬來に、比島に續々上陸し決河の勢を以て敵の防禦を破碎して進撃し、英國が東亞制覇の據點として富と軍事科學の粹を蒐めて不落を誇りし新嘉坡も忽ち攻略せられ、米國の獅子比島も先づ首都マニラを失ひ、次でバタアン半島からコレヒドールに據りし頑敵も幾何もなくして潰滅せり。又、支那植民化の第一歩をなせし香港並に上海その他の租界も或は攻略せられ或は接收せられて支那をして百年に亘る米英の桎梏より解放せしめ、更に進んで大小スンダ列島を始め南洋諸島よりも米英蘭の勢力を驅逐して濠洲を脅威し、息をもつかずビルマに進撃して重慶の輸血路を遮斷し併せて印度の側面に匕首を擬したり。

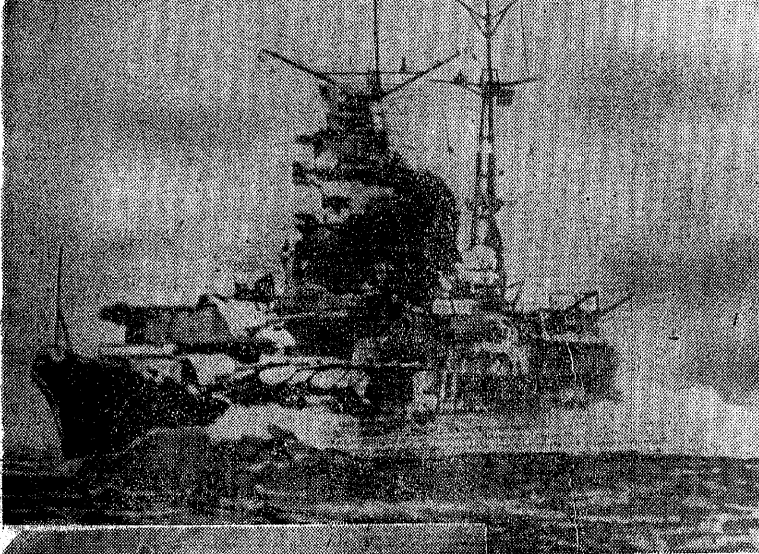
海軍は海上よりする敵殘存艦隊を次々に撃破して陸戰を掩護し、海上輸送路を確保し、最近のソロモン海戰に於ては空前の戰果を以て米艦隊に徹底的打撃を與へ南太平洋に於ては絶對不敗の戰略的優位を築き上ぐるを得たり。アリユーシヤン列島は日米間の地理的最短距離にして敵の最も狙へる所なるがこれ亦逸早く我方にその一角を奪はれ北方よりする反撃の企圖も空しく挫折せしめられたり。顧みれば一歳に足らざる期間を以て廣袤數千里に亘る地域、水域において斯くの如き大戰果を擧げ得たるもの東西にその例あるを知らず、有史以來未だ聞かざる所、この厳然たる事實を如何に見るべきか、吾人の深く思ひを潜めざるべからざる所なり。

抑も大東亞戰爭はその眼前の形態に於ては對米英戰なるもその内包するものは斯く局限せられたるものにあらず、更に高く更に大いなる我が建國の古より承け繼ぎたる大理想の顯現、皇道を世界に宣布する聖戰なることを銘記せざるべからず。古事記の誌す所によれば天つ神伊邪那岐、伊邪那美の二神に天の沼矛を賜ひて『この漂へる國を修理固成せよ』と詔らせ二神はその沼矛を以て掻きまして引き上げ給ふ時に矛先の滴り積りて國をなしたるにより茲に天降りませしとあり。遼遠神代のむかし漂ひし國の姿は想像を絶するものあるも、現に歐洲、阿弗利加、而して大東亞において展開せられある事態を客觀するを得んか、そは正に赤熱せる鐵鎔の坩堝の中に漂へるにも比すべく、天の沼矛は實に皇國の執れる破邪顯正の剣にも擬するを得ん乎。かくて之を修理固成するは天壤無窮の皇運を扶翼し奉る一億國民に負荷せられたる大任務と謂はざるべからず。

この見地に立つとき大東亞戰爭は第二の肇國の大御業を翼賛し奉る聖業にして、利を爭ひ覇を爭ふ醜き野望とは全然その選を異にす。宜なる哉、わが皇軍の征く所妖邪影を潜めて燦然たる御光の洽くや。然しながら吾人は

神武天皇が大和を平定し給ひて八紘爲宇を宣らせ給ふまでには幾多の御艱苦、御艱難を克服せられしとを現在に於て髣髴に想起するを要す。即ち敵が大東亞に打ち込みし爪牙は一掃し得たるも歐洲、印度は喘々としてその隷下に在り、太平洋上にも布哇の軍事基地の存するのみならず米英の本土は猶ほ健在なり。之を覆滅し去るまでは一瞬の偸安も許すべからず、只管前進驀進の一途あるのみ。彼の戰力増強に對しては我も亦増産の手を緩めざるのみならず聖戰の眞義に徹して『國を擧げて之を撃つは勿論老少の別なく切死して人の種の盡るまでも戰ふの覺悟』を以て此の憤感あるべからず。然れば皇祖皇宗の神靈上にあり　天佑神助などかなからん。人事を極限まで盡す所六合皇威に輝き、八紘爲宇の大理想も亦實現するを得ん。

雄渾無比、世界維新の鴻業
北邊鎭護の重責完き半島

暴戻なる醜敵米英撃攘の大詔を奉拜して茲に一年、けふ十二月八日、大東亞戰爭一周年記念日を迎ふ―大東亞の天地に世紀の建設の炬火をかゝげたこの歴史の日、そして世界維新のために、聖なる破邪の劍をとつて起つた意義あるこの日、我々はあの日、あの朝の大いなる感激と感動をどうして忘れることが出來よう、めぐり來し萬感ひまに胸にせまりてたゞ感激は無量、感激は無限である―開戰一年、陸に、海に、空に打ち樹てられた不朽の大戰果、かくて御稜威の下、我が勇敢なる將兵の勇戰奮鬪はよく苦難と闘ひ、よく艱難と戰つて、こゝに雄渾深遠なる大作戰を略完了、いまや解放された東亞諸民族の蹶起と共に大東亞十億の民族が希求して已まざりし平和が甦つた、旺んなるかな神國日本、偉なるかな神兵、かくして指導者日本を盟主とする大東亞共榮圏建設の雄大なる構想は着々として實を結び八紘一宇の大理想は後進民族をよく攝理するところとなつて世界維新の鴻業は今や大東亞の天地に撩亂として咲き亂れんとしてゐる、大東亞戰爭はかくしてこゝに記念すべき一周年の日を迎へ第二年目の決戰に突入せんとしてゐる、我が半島は開戰以來、帝國の一環として而して北邊鎭護の最重要據點として、その負荷されたる使命を果しつゝある、南方の作戰、南方の建設、日本をしてこの偉大なる業を安んじて行はしめる所以のものも、一に北方の牢たる護りあるからである、わが半島の微動だもせさる使命完遂の姿があるからだ、われくは甘んじてこの責務に凡ゆる努力を傾倒し皇國日本の驀進する世界維新の大道を北方より誤りなからしめんとするものである

御多端な御日常
拜すも畏し大御心

【東京電話】再びめぐり來た聖紀の日十二月八日、畏くも　天皇陛下には過ぐる昭和十二年七月支那事變勃發以來、日夜事變の推移に深き叡慮をかけさせ給ひ、前線より歸還の將軍を召させられてはしばく第一線の戰狀を具さに聞召されるなど、御精勵のほどは拜するだに畏き極みであるが、昭和十六年十二月八日わが帝國の興廢をこの一戰に賭する大東亞戰爭の勃發を見るや畏くも宣戰布告の大詔を渙發あらせられ、一億蒼生の向ふべき嚴たる大方針を昭示あそばされたのであつた

想ひ起す一周年前のあの日、八日早曉西太平洋水域においてわが皇軍と米英軍との間に干戈が交へられ、午前一時四十分過ぎ、翠帳深き大内山の玉砂利を踏んで東郷外相が急遽參内するや畏くも　陛下には深夜にもかかはせられず直ちに拜謁仰付けられ、緊張一入しみわたる表御座所において一時間餘にわたつて奏上を聞召され、また刻々として入る西太平洋の戰況を側近より聞召されて御寢の御時間もあらせられず、午前十時十五分緊張の氣漲る樞密院本會議に親臨あらせられ、あの歴史的な帝國の方針を御諮詢あらせられたのであつた

越えて同九日　天皇陛下には宮中三殿に臨時大祭を御親祭あらせられ、皇祖神祇の大前に宣戰のことを御親告、聖戰完遂を親しく御祈念あらせられたが、宣戰御親告の宮中臨時大祭の御儀は日清、日露の兩戰役に續き大正三年八月前世界大戰以來の御事にて、皇國の興廢を決する今次大東亞戰爭を御軫念あそばされる聖慮のほどに一億民草は畏しく恐懼感激、聖思萃公の赤心に徹して必勝敢鬪の誓ひを新たにしたのであつた

開戰劈頭ハワイ方面の大戰果を親聞には特に御滿悦あらせられ、十日山本聯合艦隊司令長官に對し長くも御嘉賞の勅語を賜ひ、續いてマレー沖海戰の偉勳にも優渥なる勅語を賜ひ前線將兵の士氣はますく揚がつた

かくて昭和十七年の新春を迎へ畏くも　天皇陛下には、玉體いよいよ御健やかに日夜萬機を御統攬あらせられたが、新春の御親閲には野戰將兵を召させ給ひ、前線將兵の上を親しく御偲びあそばされ、また前線視察のため侍從武官を御差遣あそばさる七月には霞ヶ浦海軍航空隊に次いで八月には宇都宮陸軍飛行場に行幸、去る二月紀元節御親祭の御砌りには特に御親別をもつて親く戰果を皇祖神祇に御親告、戰捷を御祈念あらせ給うたと拜承するが十一月三日には、明治節祭に先立ち畏くも　皇后陛下と御同列にて　明治神宮に　御拜、戰爭完遂を御祈念あらせられるなど、大御心のほど拜するだに恐懼の極みである、御稜威の下、今や大東亞の天地はわが皇軍の威武の下にあり『御民われ生けるしるしあり』の感激も一しほに、一億蒼生は聖戰完遂の決意を深くし奉ひまつるのである

寫眞（上）太平洋を壓すわが艦艇の威容（海軍省許可濟）（下）南海に翩りた燦として讃へる軍旗（第五七一號）

緒戰一年、戰史に燦
陸軍綜合戰果

大本營發表（昭和十七年十二月七日十六時）大東亞戰爭開始以來最近までに收めたる帝國陸軍の綜合戰果中、主要なるものならびにわが方の損害左の如し

一、南方およびアリユーシヤン方面

（イ）交戰兵力約六〇萬（ロ）遺棄死體約五一、〇〇〇（ハ）俘虜約三〇三、〇〇〇（ニ）鹵獲品、各種火砲三、六二〇門、重輕機一一、三〇〇挺、その他銃器三〇六、〇〇〇、戰車一、四四〇台、自動車三一、七〇〇輛、鐵道車輛一、二〇〇輛（ホ）飛行機撃墜七三一機、撃破九九三機、鹵獲二三五機合計一、九五九機（ヘ）撃沈ならびに大破せる艦船一〇四隻

二、支那方面

（イ）交戰兵力約三六〇萬（ロ）交戰回數約二五、〇〇〇回（ハ）遺棄死體約二八萬（ニ）俘虜約一三、〇〇〇（ホ）鹵獲品、各種火砲八四六門、重輕機三、二〇〇挺、その他銃器一九、一〇〇挺、自動車一二九輛、鐵道車輛二〇八輛（ヘ）鹵獲および撃墜破飛行機二一八機

三、わが方の損害

戰死二一、一七〇名、戰傷四一、五七六名、合計六三、七四六名、飛行機三九九機、船舶六二隻

【註】本戰果中飛行機、船舶に關するものは十一月末日、その他は十月末日までに判明せるものなり

敵兵力の六割潰滅

大東亞戰爭第一ケ年の陸軍の綜合戰果が七日大本營から發表された、南方方面における開戰劈頭の急襲に次ぐシンガポール、香港、マニラなどの戰略的中核據點の占領、さらにスマトラ、ジヤワなどの南方資源地區の攻略およびバタアン、コレヒドール攻略、ビルマ戡定などが、ね開戰半ケ年の間に終了してゐるので、去る六月七日大本營から發表された六ケ月間綜合戰果から著しい増加は見られないが、それでも、六ケ月間の交戰兵力二百二萬五千に約二百十六萬五千を加へ總計四百二十萬に、また撃墜破及び鹵獲飛行機は千八百七十六機に約二百機を加へて總計二千七十六臺（何れも支那方面を含む）に達した、今南方々面における一ケ年の綜合戰果を通觀するとき交戰兵力五十萬に對し遺棄死體五萬一千、俘虜三十萬三千といふ實に敵兵力六割を潰滅せしめた、こゝにわが方の壓倒的な勝利を偲ぶのである、また戰車千四百四十台、火砲三千六百二十門、自動車三萬一千七百台といふ尨大な數は近代戰の様相を察するのである

次に支那方面では大東亞戰爭前半年の交戰敵兵力約百五十三萬に約二百萬を加へ一ケ年の總計は實に三百六十萬に達し南方戰線の約六倍を數へてゐるその交戰回數約二萬五千回で一ケ月平均二千回、一日平均七十回弱の戰鬪が行はれたわけである、この間中支における浙贛作戰をはじめ北支、南支、[illegible]にわたり五十回に及ぶ作戰が行はれ、遺棄死體二十八萬、俘虜十二萬三千といふ戰果を擧げた、支那方面のこれらの數字を見る時、大東亞戰における支那戰線の重要性が明瞭に察知せられるのである

戰史未曾有の偉大なる戰果の蔭にこの一年間に尊き興亞の人柱となつた英靈は二萬一千百七十ト、戰傷の將兵は四萬二千五百七十六名に上つた、わが方の損害のうちその注目すべきは船舶が六十二隻に上つてゐることである、これは敵の艦艇に與へた損害百四隻に比すればその半數であるが、大東亞の建設および今後の作戰における船舶の重要性を考へる時、敵の潜水艦などのグリラ戰によるわが船舶攻撃が侮るべからざるものであることを知るのである

開戰以來一箇年の帝國海軍綜合戰果（大本營二十七ル發表）

區分	戰艦	空母（特設空母ヲ含ム）	巡洋艦	驅逐艦	潜水艦	特務艦	砲艦	敷設艦	掃海艇	魚雷艇	其他小艦艇	特設艦船	艦種不詳	計	船舶	飛行機
戰果　撃沈	11隻 カリフオルニヤ型2▽メリーランド型1▽アリゾナ型1▽オクラホマ型1【以上米】▽プリンスオブウエールズ▽レパルス【以上英】艦型未詳4	11隻 ラングレー▽レキシントン▽サラトガ▽ヨークタウン▽ワスプ▽エンタープライズ▽ホーネット【以上米】ハーミス【英】新式中型1▽特設空母1▽大型空母1	46隻 オーガスタ▽ヒユーストン▽ポートランド型1▽サンフランシスコ型1▽ウイチタ型1▽アストリヤ型5▽オハマ型1▽オーガスタ型1【以上米】エクゼター▽コンウオール型1▽ロンドン型1▽ホバート型1▽オーストラリヤ型2▽艦型未詳1【以上英】▽デロイテル▽アキリーズ型1▽トロンプ型1▽ジヤバ型2▽ト【以上蘭】甲巡又は乙巡21	48隻（米32、英12、蘭4）	93隻	4隻（米3、蘭1）	8隻	5隻	7隻	9隻	16隻	3隻	1隻	二六二隻	撃沈破 四一六隻（三、二一〇、〇〇〇トン）	撃墜破 三、七九八機以上
戰果　大中破	9隻 メリーランド型1▽ネバタ型1▽ペンシルバニヤ型2▽ノースカロライナ型1▽テキサス型1▽艦型未詳1【以上米】オースパイト型1▽クキンエリザベス型1【以上英】	4隻 新大型空母2 新中型空母1 艦型未詳1 何れも米	19隻 マーブルヘッド▽ノーザンプトン型1▽サンフランシスコ型1▽甲巡又は乙巡12【以上米】リアンダー型1▽アレスーサ型2【以上英】トロンプ型1【蘭】	23隻（米18、英5）	58隻	2隻	6隻	2隻	1隻	2隻（米2）	24隻	2隻	3隻	一五五隻		
戰果　拿捕	…	…	…	…	…	1（[illegible]1）	[illegible]（[illegible]2）	…	2（蘭2）	2（[illegible]11）	2隻	…	…	九隻	[illegible]（[illegible]トン）	
我方の損害　沈沒	1	3	3	14	8	1	…	1	6	…	2	2	…	49	沈沒[illegible]	[illegible]
我方の損害　大中破	1	2	3	9	1	1	…	…	1	…	…	4	…	22	[illegible]六五	

敵艦艇撃沈二百六十餘

【東京電話】新世界の第一ページに燦として輝くかのハワイの一戰以來こゝに滿一年、この間帝國海軍が太平洋、印度洋に打ちたてた輝かしき大東亞戰爭開戰以來十二月一日までの大本營發表を綜合すると敵に與へた撃沈二百六十二隻、同大中破百五十五隻、同拿捕九隻、船舶撃沈四百十六隻二百二十四萬トン、同拿捕五百三隻二十三萬トン、飛行機撃墜破三千七百九十八機以上といふ世界海戰史に未だかつて比類なき輝々たるものであつた、この大戰果こそ帝國海軍全將兵に脈々として流れる撃滅精神、必勝の信念が一億米英撃滅の大詔を拜するや、二十年間米英から強制された彼の不當なる五、五、三の比率を一擧にくつがへすべく營々積んだ猛訓をもつて、[illegible]作戰の至妙、勇猛なる將兵などと渾然一體となつて遂成した成果なのである、まことに輝かしいかな、わが海鷲、快なるかな、わが海戰、しかしこの大戰果の陰にはわが方の艦艇沈沒四十九隻、同大中破二十二隻、船舶沈沒損傷六十五隻、飛行機自爆および未歸還機五百五十六機の尊い犠牲があるのである、この事を深く銘記し米英撃滅の決意をいよいよ鞏固にし戰力増強に邁進することこそ帝國海軍一ケ年の大戰果をさらに光彩あらしめるとともに、開戰劈頭ハワイに散つた特別攻撃隊九勇士をはじめ太平洋、印度洋に散華した幾多忠靈ならびに南北の第一線に黙々と戰ふ海の勇士に報ゆる唯一の道である

朝刊八頁發行　八日は大東亞戰爭開戰一周年につき平日に四頁を加へ朝刊八頁を發行全讀者に配布しました

芬大統領に勳章御贈與

田中總監訪滿

[illegible]滿洲國に於て建國十周年[illegible]參議府議長を派し[illegible]正式訪滿せしめられたるに對し同國に[illegible]のため十二月八日京城發正式訪滿し十二月十二日歸任の豫定、尚一行隨員氏名は左の通り
[illegible]政局長新貝肇、情報課長堂本[illegible]、秘書官松坂時彦、司政局事務官笠井一男

情報課發表

想起すあの朝の感激！

『帝國陸海軍は本八日未明西太平洋において米英軍と戰鬪狀態に入れり』全世界をアツといはせたこの電撃放送こそ一年後のけふいまだに一億國民の耳朶に殘る歷史的快文字だ、あの日の感激を大本營陸海軍報道部の當事者に重ねて聞きたいとは、相次ぐ戰果のうちに開戰一周年を迎へた國民誰しもの希ひであらう、この歷史的な大東亞戰爭の第一聲、さらに香港マニラ、シンガポール、蘭印、ラングーンの陥落と緒戰の輝かしい六大戰果を發表した大本營大平前陸軍報道部長は この程現地要職に轉じ、いま北支前線にあつて中共軍殲滅の部隊長として日夜をわかたぬ勞苦をつづけ、一方平出海軍報道部課長は引續き銃後にあつて世界を相手に報道戰の華と戰つてゐる【寫眞 上＝大平前陸軍報道部長 下＝平出海軍報道部課長】

聖代に生きる幸福
いま前線の 大平部隊長

【北支前線〇〇發】大平部隊は戰線〇〇の北方一望無限の曠野の中〇〇縣城にほど近い所に駐屯してゐる、今年五月〇〇作戰が開始されてからずつとこの附近にあり、いまは敗殘便衣匪となつて部落から部落へ潜行蠢動する共產軍を一兵も殘さじと掃蕩に苦心努力を續けてゐるが『やあよく來てくれた、こんな所は慰問隊でさへなかなか來んからな』と突然の來訪に大喜びで南は明るい陽ざしをうけた總机、椅子一個づつと作戰要圖の貼られた壁といふ實に簡素な部屋で『もう一年になるか、早いものだな』と當時を回想し、闘魂に滿ちあふれた精悍な面持で語る

しかしこの一年は全く忙しかつた、なにしろ日本が國を賭しての大戰爭だ、われ〱が夜も寢ずに苦心に苦心を重ねたのは當然だが、時にあの朝は、何時に記者諸君を集めるか、どういふ方法で通知するかについて絶對に事前漏洩をせぬやう慎重の上にも慎重に事を運ばねばならぬので

ほかはない、しかし戰後の建設戰といふことになると南方は支那に比べたらやりいゝのぢやないか、支那大陸殊に北支は共產黨といふダニのやうな眼に見えぬ微細な奴がゐるので始末が惡い、正面きつて堂々と戰ひを交へるならいゝと易いが蠅のやうな奴には結局根氣よくやるより方法がない、兵の苦勞は大變なものだ

作戰祕匿の極致！
情熱の舌鋒、平出大佐

……示するに反し、わが海軍は如何に無言の戰力を高めながらもその力が敵を刺戟しないやうにと慎しんだことであらう、然しその心奧に沸き立つ感情は敵に對しわれ〱の戰力を遺憾なく發揮して二十年の宿怨を拂ひ皇國を永遠の安きに置かんとする願望だつた、十二月八日こそはわれ〱の歡喜だつた、悲愴にして悽慘、神聖にして莊嚴、遙かな前途に輝かしい勝利の幻を描きながら默々として戰に出で立つたその感激は我々が永遠に忘れ得ない所だ

儼たり、北方の據點
半島と結び兵站基地を確保
大戰完遂に千鈞の威

宇田新京特派員

めぐり來た忘られぬあの日、帝國が東亞侵略の元兇たる米英に對し膺懲の火蓋を切つた大東亞戰爭勃發以來こゝに滿一年、其間南に北にあげられた無敵皇軍の赫々たる大戰果と共に、わが朝鮮に接壤する新興滿洲國においても、また更生北支においても壯大なる大東亞共榮圏建設のための擴みなき活動と躍進が政治、產業、經濟、文化の各部面に亙つて着々として續けられつゝある、アジアの盟主日本のみならず東亞諸民族の興亡を賭する此の聖戰の一年間の膨大な一つ大東亞戰完遂の大目的を凝視しつゝ、あらゆる難苦を乗り越えて本格的戰時體制へと邁進し、驀進する盟邦滿洲國と華北民衆の雄々しくも力強い姿があるのだ、次にその實相を本社特派員の現地報告によつてつぶさに知らう

日滿一德 必勝へ驀進

あの日 新京の街は

例年にみない寒さで煖房の煙突から吐き出す煤煙が中空に停滯して一種獨特の雰圍氣を醸し出してゐた、何かあるのではないかといふ氣持であつた、と、ラジオのスピーカーはまだ眞暗な大氣を破つて〝帝國陸海軍は今八日未明西太平洋において米英軍と戰鬪狀態に入れり〟と大本營陸海軍部發表を力強い聲で繰返し〱街に流れ出て來た、對米英戰を豫期してゐたとはいへ信じられないほど大きな衝動を感じさせた、つぎの瞬間には〝やつたナ〟といふ當然來るべきことがやつてきたといふ感じが强く胸をうつとゝもに複合民族國家たる滿洲國に對する複雜なる種々の臆測と一種の杞憂をさへ抱かしめたのである

とにかくあの朝滿洲國の人々には何とも表現できない氣持に滿たされたことは事實である、緒戰の赫々たる戰果は刻々と電波によつて報ぜられ正午には畏くも對米英宣戰の大詔が渙かに傳へられた、滿洲國政府においては張滿洲國總理を中心に日頭鳩首協議の結果、御前會議を奏請し皇帝陛下には深夜にもかゝはらず御臨、詔書を渙發せられて『朕日本 天皇陛下ト精神一體ノ如ク爾衆庶亦其臣民ト咸ナ一德ノ心ヲ有ス夙ニ不可分離ノ關係ヲモツテ固ク共同防衞ノ義ヲ結フ生死存亡斷シテ分携セス』と宣ひ、親邦日本と共に國を賭して米英を驅滅する國家の態度を明かにし國民の嚮ふところを明示し給うたのである

千載に 一遇のとき

滿洲國として最も力を致すべきことは何か、國防に關しては靜かなること林の如く、動かざること山の如き皇軍の鎭護東軍ありて磐石の固めあればいさゝかでも憂慮することなし、要は複合せる民族の收攬と日本が心おきなく聖戰完遂に邁進し得る物資の供出、これであつた、時あたかも進捗しつゝあつた第二次產業五ケ年計畫は對日供出物資の重點を鐵、石炭と農產物增產に置き四千五百萬國民の總力を結集して、北方據點の確立と對日供出のため新しき發足をなしたのであつた、先づ民族の收攬には政府と表裏一體の關係にある協和會がこれにあたり、二月八、九日兩日國都協和會館において協和會臨時全國協議會を開き畏くも皇帝陛下御臨、獨、伊、中華民國などの樞軸國大公使も參列し各民族各層の聖戰完遂の決意を表明し次いで五月には日本、中華支、華北、蒙古、朝鮮、台灣などの若人六萬五千が國都に集結して興亞青年大會を開き大東亞共榮圏若人の親睦と明日の誓を新にし同時に青年滿洲の壯容を認識せしめ、更に七月には協和會全國聯合協議會を招集、十月の定期全聯においては皇帝陛下の勅語、軍司令官訓示において植田聯盟の再昂揚がなされるなど協和會創設以來培はれた精神は實踐化され大東亞戰開始以來の祀憂は完全に拂拭された

國民の 赤誠は燃え

陸海軍に對する恤兵金、國防獻金となつて現れ、關東軍恤兵部への獻金件數二萬五千、金額五百卅萬円、國防獻金二萬四千件、金額一千二百萬円、慰問袋九萬個、また海軍に對しては駐滿海軍武官府を通じての國防獻金四千五百件金額二百三十五萬円、恤兵金三千三百件、金額一百萬円、兵器獻納二百萬円、慰問袋六萬個といふ數字を示しその數字的には斷然日本人が首位を占めてゐるが、從來國防獻金恤兵金の獻金といふことを全然顧みなかつた滿系、蒙系が生活費を削いてまで皇軍のため日本のため獻金するといふことは彼らの歷史上空前のことである、全然海を知らず軍艦を知らぬ蒙古系がハワイ海戰をポスターや映畫でみて感激のあまり海軍獻金を獻納したことは單なる見聞や一時的の現象ではなくこゝに導くまでの協和會運動には自ら頭の下るを禁えるのである

この協和會運動による民心の把握は政府の凡ゆる方策に反映して石炭鐵鋼の生產は豫定の數字をはるかに突破し暗夜の空をあかく〱と染める昭和製鋼所本溪湖煤鐵公司の熔鑛爐の煙は重工業滿洲の表徵として千鈞の威力を感ぜしめる、農產部門においても豫定數量以上の增產を示しその蒐荷また極めて良好にして各驛構內は所狹きまでに糧穀の山をなしてゐる、經濟に於ては戰時緊急經濟對策に基き國力をあげて鐵、石炭、非鐵重要特產大豆をはじめ軍需農產物の增產、對日寄與の增强に邁進する一方、對日期待物資就中消費の國內生產による自給自足體制確立に努め、以て聖戰を勝ち拔く親邦日本の兵站基地としての重責達成を期してゐる

さらに 又もつとも

讚るべきことは滿洲國は本年あたかも建國十周年にあたり四月から九月まで國家的慶祝行事が繼續開催され、國內外より新京に集結したその數實に二百萬を算した、特に四千五百萬國民の感銘を深うしたことは大日本帝國 天皇陛下御差遣の高松宮宣仁親王殿下が八重の潮路遙けく親しく滿洲國皇帝陛下を御訪問遊ばされ建國十周年を御慶祝あらせられまた滿洲國民に對して優渥なる御言葉を賜つたことである、日本皇室と滿洲帝室の御交歡は大東亞戰下一しほ意義深く國民の胸に烙きつけられたのである

さらにまた、中華民國の主席汪精衞氏、蒙疆主席德王、華北政務委員會委員長王揖唐氏ら相次いでの滿洲國訪問は善隣友交の上に劃期的結果を齎したことと云ふまでもない、かくの如く滿洲國は大東亞戰を戰ひ拔きつつも餘裕しやく〱新興國家の力強き巨歩を進めてゐるのだ

政治的に 滿鮮間の

最も劃期的事實としては滿鮮連絡會議の設定であつて今日まで回を重ねること三回、その結果は在滿百五十萬半島人の上に反映するところ實に大きい、その在滿半島人の八割强は農民であつて大東亞戰下米穀生產の最も有力なる挺身隊として皇國臣民として恥かしからぬ臣道實踐に勵しんでゐる、特に徵兵制實施令の公布はその生活の上に更に新なる感激と覺悟を把持せしめたことは『戰場にある勇士は命を擲つて戰つてゐる、われ〱は國家のために米穀を供出したことによつて戰死するとも本望である』と在滿半島農民の全力を總集して政府要請數量の米穀蒐集をなすといふ悲痛な誓ひを立てた一事によつても見ることができる、一般的滿鮮間の現狀は滿鮮連絡會議によつて滿鮮一如の精神が漸次滲透しつゝある有無相通質においても同化といふところまではまだ到達していない點もあるがこの點も國家といふ大局に立つてお互が誠意を披瀝すれば問題なく解決されることであり、大東亞共榮圏の兵站基地といふ大きな役割を滿洲と朝鮮が擔つてゐることに想ひを致せば自づと釋然することである

從つてその境を接してゐる滿洲、朝鮮、中華の三者は車の兩輪の如く精神的には滿洲協和會、朝鮮總力聯盟、北支新民會、または東亞聯盟中國總會などががつちりと組んでまづ精神的結合をなし、物資交流においては朝鮮の水產が滿洲國の食糧に、滿洲の糧穀が中華朝鮮の糧食に、北支の石炭が滿洲の製鐵用にと三者合併相進ずるとにおいてそれぞれ光榮ある重大役割を果せるのであり、朝鮮から入つた物資が長城線を越えて北支に流れ滿洲の糧穀が行方不明になるやうでは淋しい、各自の小さい割據主義を一擲して飽くまでも大東亞建設の大乘的態度を把持して國策を遵法することを念頭に置かねばならぬ、北の護りは關東軍によつて鐵壁である

北の護りは鐵壁だ（陸軍省許可濟）

大業貫徹に邁進
張滿洲國國務總理談

【新京七日同盟】光輝ある大東亞戰爭一周年の記念日を迎へ、滿洲國張國務總理は、盟邦と一心同體、大東亞建設の聖業完遂に邁進すべき滿洲國不退轉の決意を次の如く披瀝[illegible]

盟邦日本[illegible]つて米英撃滅の火蓋を切つてから早くも一周年を迎ふるに至つた、この間、親邦陸海軍の破竹の進擊は、マレーに、比島に、スマトラに、ビルマに連戰連勝の戰果を擴大、今や南方諸地域においてはその雄渾なる作戰と併行して着々アジヤ復興の建設戰が進められつゝある、實に十二月八日こそは、東亞の運命を決し、更に全世界の歸趨を決すべき世界史轉換の日であつた、東亞の幸福は多年に亘り米英の海洋帝國主義に侵され、アジヤの富は奪はれ、アジヤの精神は抑へられてゐた、萬邦をして各々その所を得しめんとする親邦日本の道義感は、この米、英の不當なる桎梏下に呻吟する東亞の狀態を默視するに忍びなかつたのである、このことは、東洋道義の精神に基いて建國せられたわが滿洲國に對し、日本が過去十年の間示し續けた導き、仗儀に照らして見ても明かなところである、大東亞戰爭こそは東亞民族の解放戰であり東亞全域の建設戰である、しかも大日本帝國の大理念たる八紘一宇の精神のもとに着々進展しつゝあり、赫々たる戰捷のもとに米英的なものから逐次解放されゆく東亞民族の將來こそは最も光輝に滿ち且祝福さるべきものであらう、今こそ全東亞の民族は一丸となり親邦日本に協力して過去數百年米英の搾取と非道義のなかに虐げられてきたアジヤの富と精神の復興に突進すべきである、今次戰爭は日本の戰ひであると同時にわれわれ東亞全民族の戰ひである、特に親邦と一德一心不可分關係にある我が滿洲國においてはさきに親邦 天皇陛下の宣戰の大詔渙發せらるるや長くも皇帝陛下におかせられては『時局ニ關スル詔書』を渙發せられ『官民一心、萬民一志、國人ヲ擧ゲテ盟邦ノ戰ヲ援ケ以テ東亞戡定ノ功ヲ輔ケ世界ノ和平ニ貢獻スヘシ』との御言葉を賜はり、我が國民の向ふべき大方針を逸早く明示せられたのであつた、爾來一年、我が國民は本詔書の御趣旨を體し、上下一心、國家國人の總力を擧げて聖戰の完遂に力を致し、東亞建設の大業貫徹に努力し來つてゐるのである、世界制覇の野望成らざるのみか、東亞における侵略の足場悉くを奪還せらるゝに至つた世界の敵米英は、今やその全力を傾注して軍備の擴充に狂奔し、戰爭は漸次長期化の相貌を呈しつゝ一周年を迎へるに至つたのであるが、アジヤ復興の固き決意と輝く希望に燃ゆるわれらアジヤ民族の決意は不動である、恰も本年、建國十周年の佳き年を迎へたわが滿洲國は、更に第二建設への一大飛躍を期して、軍事、思想、經濟の全面に亘る刷新强化を斷行、共榮圏北方據點としての高度國防國家體制を確立すると共に豐富なる地下資源、尨大なる電力の開發、廣漠たる沃野に惠まれたる農產物の增產を行ひ、日滿一體、死生存亡斷じて分攜せざるの固き決意を以て大東亞建設の大業必成に貢獻するところあらんことを期すると共に今日の意義深き一周年記念日に當り、今後ますます協力一致、興隆アジヤの大業達成に力を致さん誓ひを新たにするものである

日本と共に戰ふ
華北の決戰體制確立

川邊北京特派員

光明輝く北支

大東亞戰爭勃發と同時に王揖唐政務委員長は『日本の勝利たる實力に全幅の信頼をよせ戰爭目的達成を容易ならしめるため華北は擧げて一切を日本へ協力する』と力强く一億民衆へ呼びかけ治安確保、金融對策、戰爭遂行に必要なる資源確保、食糧對策の四點を參戰華北の必勝體制として擧げた、また間髪を入れず、敵國權益武力をわが實權下に把握した北支軍は、將共抗日勢力を剿滅、南方新作戰に相呼應して事變解決に直往するとの決意を明かにし、日華一體の態勢強化を要望した

かくて大東亞の新世紀建設戰が開始されたのだ、この日、この時をもつて華北の相貌はがらりと變つた、〝大東亞解放戰と華北〟といふ新しい課題がわれわれの前に與へられた、それは星條旗に日章旗がかはつたとか日本語が英語にかはつたとか現象的なことでなく、もつと根本的なじぐざぐコースをたどつてゐた事變處理への進路目標に大きな光明が射してきたことだ、物心両面に亙つて華北の民心は非常に明るくなつたことは事實だ、この機を逸せず軍は聲明通り華北蒙疆全地域にわたる將共両軍に對し神速果敢なる鬻組を下し、敵が呼號する大東亞戰爭を機とする積極的總反攻を槿花一朝の夢と化せしめた

三大施策確立

南方の大戰果のやうに派手ではないが、地味でしかも勞苦に滿ちた剿滅建設戰が間斷なく續けられた、華北の主なる作戰を擧げてみても冀東、冀中、冀南、晋冀境、平北、魯東大作戰をはじめこれに附隨する大小三千餘の作戰を展開、敵の逃動を斷じて許さず、治安確立の基礎をつくつた、この大東亞戰爭下餘裕しやく〱、はかり知れぬ日本の底力も皇軍の實力に抗戰の愚を悟つた殘匪將軍、趙雲祥將軍をはじめ敵將領が二萬、三萬の部下を率ゐて歸順和平陣へ參加した、とはいまなほ銃後の記憶に新しいところだ

この抗戰陣の凋落と共にわが治安圏は飛躍的に擴大し、大東亞戰勃發直後に比して約二、三倍となり遮斷壕の延長は萬里長城の六倍、地球円周の優に四分の一といふから物凄い、この治安圏の上に北支の政治、經濟文化の華は咲くのだ、從つて治安の確立なくして施政も產業開發もあり得ないわけだ、だから華北の參戰態勢は對敵强化によつてこそ完璧といひうる

大東亞戰爭勃發するや直ちに華北政務委員會は省市長會議を開催、治安の確保と民心の安定、重要物資の開發と食糧對策、非常時經濟體制の樹立の三大重要施策について日本と共に戰ふ華北の光榮ある責務に生きることを誓ひ合つた、政務委員會は機構を整備、特に諮詢會議を設置、王克敏氏はじめ在野元老七氏を委員に迎へ華北政治力を一段と强化、大東亞戰爭完遂のための諸施策徹底につとめた

新民會の活動

また一億民衆の領導體たる新民會は大東亞戰爭の意義闡明、東亞民族解放への自衛邁進、東亞新秩序建設における華北の特殊性の再確認、この三基本方針をもつて民衆を總動員した、かくてこの盛り上つた總力を結集したのが東亞解放國民運動だ、この運動は華北の特殊な環境と性格を剿すところなく吸收せんとする物心両面にわたる國民總力運動である、中支の新國民運動が三民主義を基本としてゐるに對し華北は新民精神、東亞解放の理念を二大基點としてゐる

その實踐綱目は一、國家に忠二、東亞を愛す三、道義を重んず四、勤儉奨勵五、責任を負ふ六、紀律を守るの六つからなり、その本質は一切の行動一切の行事を擧げて東亞解放の最大目標に集中、華北が大東亞戰爭遂行の途上に課せられた重要任務に鑑みこの運動を展開し、もつてその要請に應へんとするものである

いひかへれば物心總動員を敢行し大東亞戰爭最後の勝利を獲得し更に進んでは舊思想、舊體制を清算し新思想、新體制を樹立東亞新秩序建設の重要役割を果すものだ、こゝにおいて華北の新政治の體制は完備したといつてよい、續いてこの運動の實踐體、推進力ともなる青少年團の一元的再編成が決定し王委員長が中央統監、殷同、周作人両監が副統監に就任、この輝く大東亞戰一周年記念日の八日全華北から選ばれた青少年が北京に集合、中國にかつて見ない盛大な結成式を擧行することになつてゐる

接續地の一體

大東亞戰爭勃發以來朝鮮、滿洲、華北の大陸接續地域が一體となつて總力を結集して北方圏の實力を一層發揮し高度の經濟倫理によつて合理的物資交流をなさねばなるまいと說かれたが、その一切を『對日寄與』に突入せしむることが大東亞建設の大いなる設計に參與する所以でもあるわけだ、そこで滿鮮華各會議そして最高首腦部が參集した大陸連絡會議に至まで發展し北方圏において各ブロツクの物資交流が檢討され、調整され、しかして相互の緊密强化による綜合生產力の擴充が企圖されたわけだ、第一回大陸連絡會議の成果としては滿鮮、蒙疆諸地域の繼の連繫が緊密になつた

各地域における統治の根本方針民心の動向、思想問題、治安狀況、產業經濟各分野にわたり相互に認識を深め協力の根本方策を決定した、さきに北京で開催の第二回大陸連絡會議に於てはこれを一歩前進して大陸各地域と睨み合せ綜合企畫による大陸化學工業の振興、製鐵、電力、紡績、大陸交通整備、食糧の交易等の諸問題が討議され、華北炭の增送、鴨綠江水電の滿鮮配電、通關簡易化等については基本諒解が成立した

大東亞戰爭完遂を目標として兵站基地たる滿鮮華蒙各代表者が大乘的立場において政治的協調からさらに相互提切の根本原理を把握し北方圏の綜合力發揮に臨戰の體制を確立したことは大陸建設の推進力となるであらう

物價調整要望

特にこの會議において田中政務總監が朝鮮統治に關して微に入り細にわたる說明をなし各代表者を驚かせ、滿鮮半島を再認識させたことは今後の物資交流に貢獻すること甚大であらう、華北から滿洲へ石炭を送り年々百萬の勞工者を入滿せしめ、滿洲は朝鮮へ糧穀を送り、滿鮮へ鑛山炭を送る、このやうに滿鮮華は文字通り唇齒輔車の關係にあるのだからブロツク意識を一擲し高度の經濟倫理によつて合理的物資交流をなさねばなるまい、殘された問題として滿鮮華の價格差調整も早急に實現したいものだ、滿華間には經濟平衡資金制度の原案ができ輸出入物資より調整料乃至價格差をプール化せしめる、また鮮滿間では朝鮮側に奨勵金といつた形式で價格差を配分する方法も考へられてよからう、交通部門においては釜山を基點とする南京、上海直行列車の實現もさう遠い將來のことではあるまい

大陸交通機關の一元化問題も決して一笑し去るわけには行くまい、華北、朝鮮を繋でつなぐ國際電話も先般摘發された、船舶不足の折から鮮華間のジヤンク貿易問題ももつと眞劍に研究され實行に移すべきではあるまいか、朝鮮側業者の飛躍的奮起を希んでやまない

東亞の盟主東京を中心として京城、新京、北京、南京四京を結ぶ紐帶性はかくの如く强化されつゝある、ともかく鮮滿華は一體なる經濟圏であることを輝く大東亞戰爭一周年を迎へた今日われ〱は銘記すべきであらう、最後に特に銃後半島二十四百萬同胞にお願ひしたいのは〝戰つてゐる北支〟を小時も忘れないでもらひたいことだ、剿清建設戰は進攻作戰のやうに華々しくはない

しかし黄塵朔風と戰ひダニのやうな共產軍を剿滅してゐる皇軍工作隊員の勞苦は言語に絶するものがある、大東亞戰爭は支那事變にはじまり究極するところ支那事變の處理によつて終止符がうたれるのだ、その最後の敵は實に重慶ではなく中國共產黨軍なのだ

北支には三十萬の正規共產軍が蟠居して新中國建設の施策を妨害してゐる、この絶滅なくして新中國はない、大東亞建設の癌は中共だ一戰も彼らの活躍舞台は北支だ一晝もなく夜もなく或は黄河々畔の叢蘆に或は大行山脈の山岳戰に間斷なき討伐はつづけられてゐる、北支戰線の勇士を想へ……

銃後の使命自覺
體當りで完勝へ邁進せよ
◇……朝鮮軍報道部長倉茂少將談

倉茂報道部長

國難に遭遇するたびに大いなる底力を發揮して、これを突破してきたとは日本國民の一大特色である、元寇の役をはじめ日清日露の兩役、滿洲事變、支那事變など何れも直接國家の運命につながる戰ひであつたが、戰役のたびに國民は、前線銃後一丸となつてこれを乘切つてきた、この國民の特色といふものが朝鮮においても明瞭に認められることは甚だ愉快である、支那事變以來帝國の國防に關する半島の民心は、日ごとに昂揚されつゝあつたが、大東亞戰爭勃發後はいよ〱その愛國心は自主的に昂まつた、經濟、產業、教育などあらゆる部門にわたつて、戰時體制を着々整備するとゝもに國防獻金や、愛國兵器の獻納の飛躍的增加などによつても、はつきり半島の底力なるものがわかるのである

さらに昭和十九年度以降においては待望の徵兵制度實施によつて直接に打倒米英の第一線に勇躍出動し得ることとなり、全半島がいよ〱全面的にその持つてゐる力を發揮し得る機會に恵まれるに至つたことは、半島同胞のため誠に慶ばしいことゝいはねばならぬ、いまや大東亞戰爭は滿一周年を迎へ、決戰につぐ決戰の息もつがせぬ緊迫した樣相を示してゐるのである

實に大東亞戰爭勃發以前、以上の困難がわれらの眼前に横たはつてゐることを認識しなければならない、こののちにおいてこそ日本國民がほんとうの大試煉をうけるときであり、從つて今日以後において、ほんとうの日本の底力が發揮されなければならないのである

三十年の歷史をかけたこの一大決戰に最後の勝利を得るため、すぐる一年間われらはいかにして大詔に應へ奉つたかを靜かに反省したいと思ふ

特にソロモン方面においては既に、日米兩海空軍の立體的死鬪が折返し展開せられてゐるのである、かくして對米英戰爭はその本格的決戰の第一段階に達し、今後この決戰が臨時隨所に折返されることを覺悟すべきである

去年のこの日の感激をして一時的ならしめてはならない、刹那の緊張だけでは到底勝利は望めない、不撓不屈の逞しき攻擊精神を充溢した日本國民本然の姿を顯示し、實力の充實強化をはかり敢然として不斷の決戰に終始勝利を以て突破することこそ一億國民の國家への御奉公である

大東亞戰爭第一年は御稜威のもと戰勝に始まり、戰勝のうちにつづいた、けふ大戰第二年目の第一日を踏み出すにあたつてわれらは『天業翼贊、皇道宣布の戰士なり』との強固なる意志を以て、この大戰に從事するの誓ひも新たに軍官民一致して戰力を增强しつゝ完勝に向つて邁進しなければならない

偲ぶ激戰の跡

南進の姿を象徴

神々しく拜す昭南神社の神明造

彈痕の街に〝日本色〟

重慶を一睨み

マンダレーへの道

と注意されなければ恐らく妙な枯木林の中の一部落だ位に危ふく見過してしまふところであらう

◇……逃げ際に重慶軍が街といふ街、建物といふ建物を一切燒き捨てて去つたのである、しかし今では町の人達も大部分は歸つて來た、手輕な假小屋ではあるが盛々に新しい家屋が建ち出してゐる、舊市街の中心にあつた市場の跡にはアンペラ張りの新しい市場が生れ出て賑つてゐる、だが黑々と燒けた棧を空に突き出して果てしもなく連つてゐる裸の巨木の群は何であらうか

◇……また所々に積上げられた煉瓦の隙間から雜草が二、三尺も生ひ繁つて恰も墓場の跡のやうな小さい廣場はなんであらうか、それは曾つて繁華だつた昔の街路の並木と、商業會議所の戰火の跡なのである、假小屋が建ち竝ぶのに早い南國の草が灰を蔽うてゐるために、一目では町の燒跡と判らぬがそれだけにそれを氣付いた時の風景は一入すさま

じい

◇…街でイタリー人の坊さんの一人に會つて次のやうな話を聞いた上陸地點の斷崖上にある一本のマンダレーに日本軍が入つたのは五月十日の夕方でした、その六日程前日本軍が近付いたといふ噂があつたので私達は監視の英軍將校に『街で戰爭が始まつたら自分達はどうすればよいか』と訊きましたら『日本軍が來るなんてことは絶對にない』と高言してゐました、その二日後に今度は支那將校に『司令官に會はして貰ひたい』と要求したところ司令官は既に後方へ引揚げたといふ話でした、私達が啞然としてゐるうちに支那軍の退却が始まつたのです、兵士が街に入つて手當り次第食物を掠奪する、やがて街に彼等の放火が始まり、ガソリンを家の中まで注ぎ込んで火をつけました、この惡魔のやうな連中を追ひかけるのが、日本の飛行機と大砲と最後に戰車でした、恐ろしく大きくて速度の速いスチーム・ローラーがでこぼこ道をならして行くやうな感じ、これが日本軍の追擊振りでした、私の見たのは本當の戰爭ではなくて、道路の補修だつたのかも知れません、私達はあの日本軍の歷史的な勝利、雄大な進擊振りを生涯忘れることは出來ない

支那軍の殘していつたこの破壞とともに、マンダレー追擊戰の戰跡は遂にここから東北へ向つてラシオに至り、緬支國境を越えて更に遙か重慶を睨む明日の戰場へと續くのである

斷崖にさがる朽繩

波頭白し、血沫の岩

◇……破壞から建設へ、大東亞戰爭の躍進するところ逞しい建設の譜音がいたるところで大東亞の戰歌を奏でてゐるが、開戰一周年、七ケ月振りにバタアン半島の戰蹟に再び足を踏み入れて第一に驚いたことは米軍の焦土戰術に廢墟と化した燒野ケ原に歸つてきた避難民の毅然とした姿であり、その逞しい建設振りであつた、マニラから六十六キロ、サンフエルナンドから更に道を左にとつてバタアン半島に通ずる白い眩々としたコンクリートの鋪裝道路を西へ向つてかつてはバタアンへ、バタアンへと邁進する幾百幾千のわが軍用自動車が埃を蹴いて疾驅した街道だ

わが鐵牛部隊奮戰の跡バコロールやグワグワ等を經て行くこと四十餘キロで道は二つに分れ、一線はナチブ要塞を總攻擊前〇〇兵團本部のあつたデナルピアンから西海岸の軍港オロンガポへ通じてゐるが、いまは武勇橋と改名した木橋を渡つて左に折れると、早や眼の上に眇々たるナチブの稜線が迫つてくる

◇…第一次バタアン總攻擊に皇軍が血をもつて獲得した激戰地である、米比軍はこの天嶮により巡邏の如く進擊する皇軍に對し巨砲を釣瓶撃ちに射ちまくつてきたのだ

四月三日のバタアン總攻擊前軍司令部のおかれたオラニはいまでは避難民も全部歸つて來てバランガから移轉した州廳を中心にバタアン建設の基地として逞しい建設の譜音をひゞかせてゐる、バランガの町をすぎてサマツト山麓に向ふ道路の兩側の田圃はいたるところ砲彈、爆彈の穴で水溜りが出來てゐるが、それも育ち草に覆はれて水牛の憩ひ場となつてゐる

ジャングルの中へつゞくタリサイ河を遡つてサマツト山の密林へ入る、タリサイ河の上流カトモンはサマツト山攻略の正面に當り四月三日に始まつたわが精銳の總攻擊に戰車隊を率ゐて突擊した園田部隊長戰死の地であるが、風雨にさらされて黑ずんだ墓標の前には名も知らぬ草花が供へられいまはバタアンの守護神として靜かに眠つてゐる

◇……道路を距て入川向うのジャングル地帶はマイクを武器とするわが宣傳班員が敵前七十米まで挺身して對敵放送を行つた地點で、バタアン攻略戰は實にこのサマツト山の攻防戰にあつたのだ、半歲後の今日まで未だマリベレスの密林地帶では戰場整理に多忙である、が、村々の復興はわが軍政監部の指導下に快速調である

上陸地點の斷崖上にある一本の杭には固く結ばれた麻繩の端が風雨に朽ちてボロ〳〵になつてゐるが、これこそわが敵前上陸の決戰隊丸山部隊勇士達が雨霰と飛びくる敵彈下に身をさらしながら、此麻繩にすがつてよぢ登り肉彈を以て突擊路を開いた記念すべき朽繩である、黃昏近く崖上の上陸地點に立てば岩石に碎ける波浪の音は勇士の死を悼むが如く敵彈に我衣を裂かれ血しぶきを浴びた勇士達が阿修羅の如くこの斷崖を攀ぢ登つた姿がありありと浮んでくるではないか、記者は上陸地點附近に建てられた眞新しい勇士の墓標に額づいて心から默禱を捧げた

◇……コレヒドール島と共にマニラ灣內の四要塞の一つとして米比軍が執拗な抵抗を試みたフラレイ島は全島人工によるペトン製の要塞で別名を軍艦島と呼び海上にポツカリ浮んだ姿はさながら不沈戰艦である

島內はまた軍艦そつくりで機關室、彈藥庫をはじめ、寢室、醫療室、食堂等至れりつくせりの設備が完備してをり、海面下が四階、海上が二階の堂々たるビルデイングであつた、破壞された砲塔も皇軍占領後直に修復されいまではマニラ灣を扼する前哨線としての護りについてゐるが、食堂の壁に貼られた『今日よりはかへりみなくて大君の醜の御楯といで立つわれは』の防人の歌を讀み記者は孤島に何等の慰安もなく日夜警備の任に當つてゐる將兵の勞苦に心から感謝したのであつた

敗戰アメリカにみる苦惱と悲喜劇

【寫眞】上＝戰局挽回に智慧をしぼる米軍首腦部（前列左からアーノルド陸軍航空隊司令官、マーシャル參謀總長、マツクネーヤ陸軍地上部隊司令官）圓形＝部下を見殺しにしてコレヒドール要塞から命から〴〵脫出したマツカーサ－比島軍總司令官の凱旋將軍ぶり　中＝米艦ワード號で五インチ砲を囲む水兵の勇姿がなんと救命衣とは！　下右＝眞珠灣の沈沒船引揚作業　下左＝わが海鷲爆擊下の眞珠灣

興亞の息吹を探る

寫眞　1＝ペグー（ビルマ）で敵戰車の殘骸で遊ぶ子供たち　2＝激戰を偲ぶ彈痕のジョホール政廳　3＝コレヒドール島敵前上陸に絕壁にかけくれた梯子　4＝バタン半島マリベレス街の復興ぶり（陸軍省檢閱濟）

十二月八日

凜然たり

寺本喜一

米英撃滅に飛ぶ
日米交渉に決裂
箸をおきてしびるゝごとし
凜然たり　十二月八日
宣戰の大詔渙發せられ
滂沱として感涙をぬらせり
毅然として皇軍を信頼す
瞬刻ハワイ急襲を聞く
神速皇軍マレーに迫り
わが學友　小野軍曹
泰國境ブクリカンに戰死せり
かくとも知らずして　彼らに
勝酒を呑みし我は迚に伏すべし
香港は落ちたり
續いてマニラ陷落せり
忽ち天降る神のつはもの
シンガポール永遠に消えたり
バターン半島コレヒドール潰滅す
古閑中將　我な逝ふ、貫兄ありて
切實に我が生活を驅新せんと
潛水艦米國サンタバーバラを攻擊す
ルーズベルトふるへ、敵水中にありと
緬甸、忽ち日本となり
ビルマ獨立遂になれり
あゝ日輪の鮮かなること
あなすがし　亞州朗一家
日泰同盟親復節
ビヤ・パホン東京に來る
ABCDいづこにありや
我祝酒をくみて瑞然たるに
慄然として聞けり　特別攻擊隊
我すでに不惑に近からんとして
皇國のために何をなしたりしや
我不平を云ひ、腹立ちて
おのれのことのみひたすらに思ひ
恰も毛虫のごとくあらざりしや
四月鬼畜來るも
わが神州は斷じて搖がず
珊瑚海　ソロモン海　南太平洋
凱旧たる決戰　わが決意を知るべし
海鷲儼然として加州を爆擊す
いざゆくべし　オーストラリヤ大陸
印度進駐　洋々として遊る
アリューシャン、マダガスカル、大西洋
我、夜を徹して友と語る
ニューヨークを爆擊すべし
彼處なるエンパイヤステイトビル
神を冒瀆する摩天樓こそ
乾坤一擲　風前の燈火
男子の本懷かくてこそなるべし

不連續線

神州日本

十二月八日は、歷史の黎明の日である。

神州日本、世界に君臨す。

何をか『神州日本』といふ。

卜部兼延は『唯一神道名法要集』に曰く『國はこれ神國なり。道はこれ神道なり。國主なこれ神皇なり。祖はこれ天照大神なり。一神の威光は遍く百國の世界を照らし、一神の附屬は永く萬乘の王道を傳ふ。天に二日なく、國に二主なし』と。

北畠親房は『神皇正統記』に『大日本は神國なり。天祖はじめて基をひらき、日神ながく統を傳へ給ふ。我國のみ此の事あり。異朝にはたぐひなし。此の故に神國といふなり』といふ。

神州日本の臣、乃ち振起す。

京日歌壇　吉井勇選

飛行機六萬戰車五萬スターク議讃して數字をならぶ　興南　久米賢
汝肉を斬らば我は骨を斬らむ

軍刀の手入を終へし君はまた垣つくらふと出でて行きたり　京城　白木鯉淸

敎官の擧手の手袋白うして校庭はやもたそがれにけり　城津　梅本三郎

戰線の兄のたよりは短かけれど一字一字に決意こもれり　全州　大宮雅子

家々に南方の地圖掛けてあり一億のまなこ南に向ふ　平壤　加藤二郎

脂粉澄きをみなを厭ふ世となりてみいくさ日日に勝ちつづき　竹逸　猪石胄塔

南方の土に汚れし子のたより尊くもまたなつかしきかな

【締切】十二月十五日締切

映畫界にも戰時色

各館の番組戰

十二月八日を中心に映畫界ではあの日の感激を新たに戰捷下に相應しい番組計畫が全鮮的に進められその第一彈は既に十二月三日から京城で封切られた東寶映畫の『ハワイ・マレー沖海戰』と比島派遣軍報道部製作『東洋の凱歌』で口火を切られたが、これに次いで各社が思ひ切つた規模と完璧の布陣を以て製作した作品を矢繼ぎ早に封切つて、戰時色に一段と拍車をかける計畫で先づ京城の紅系は八日で『ハワイ・マレー沖海戰』を打ち上げ、續いて松竹大船が銃後日本女性の忍從の美しさと、內に燃え沸る大和乙女の烈々たる氣魄を描いた『愛國の花』を、更にこれが終ると、大映の『英國崩るゝ日』を出す

片や白系には形式こそ異るが米英の暴戾に決然起つた昨年十二月八日の前夜まで謀略戰に暗躍してゐた米國諜報網の全貌と思想戰の重要性を强調した大映の防諜主題劇映畫『あなたは狙はれてゐる』の封切を十二月第四週に豫定してゐる

年內のこの種封切作品は以上の通りであるが、明年度早々には東寶『コレヒドール最後の日』松竹の『ビルマ作戰』大映の『シンガポール總攻擊』等戰記、軍事劇、或は防諜劇の大作が堂々銀幕に殺到することになつてをり、一方朝鮮映畫製作會社で完成を急いでゐた徵兵制度實施記念作品『我等いま征く』は遲くとも新春一、二週目には一般公開される見込みで、引續き同映畫の姉妹篇として目下着手寸前の『昭和十九年』も快速撮影に移らんとしてゐる

映畫戰士南方圈へ

日本映畫社及び日本映畫配給社では大東亞共榮圈の文化工作として南方諸地域に多數の映畫戰士を派遣することになつたが、このうち朝鮮關係者では福島久男氏（前日映朝鮮出張所長）はマニラ支局へ、小木曾潤氏（前東寶映畫朝鮮配給所員）が泰支社へ、河合芳一氏（前松竹映畫朝鮮出張所員）はビルマ支社へ、中野孝夫氏（日映文化映畫『鴨綠江ダム』製作者）がセレベス支局にそれぞれ赴任と決定した

夕刊
京城日報
夕刊一部　定價金二錢

斷乎重慶撃滅へ！
全將兵新なる心構へ
河邊總參謀長の書傳達

【南京六日同盟】大詔奉戴一周年記念日を迎へるに當り支那派遣軍總參謀長河邊正三中將は大東亞戰下支那派遣軍將兵に告ぐる書を全將兵に傳達することとなつた

右は斷乎重慶撃滅を目指す派遣軍の決意を強調し事變處理に邁進する派遣軍將兵の心構へを諭した戰陣訓ともいふべきもので、ある内容左の通り【寫眞＝河邊總參謀長】

（一）大東亞戰爭の完遂と日支關係解決

大東亞戰爭の勃發は明かに支那事變をめぐる時局の解決を急とした、わが無比の皇軍に對する米英の覇道的世界政策に基く陰險極まる挑戰にその直接の事端を發する、從つて支那事變の完全なる解決なくして大東亞戰爭の完成はあり得ない所以を明かに闡示せられ、また畏くもこの日陸海軍に賜りたる勅語を拜しても同斷の聖旨を承るのである、われら支那派遣軍將兵としてこの大東亞戰爭がわれらの當面しつつある支那事變と右の如く深い結びつきあることを思ふ時、誰か、一段の感激と發奮とを禁ずるものがあらうか、大東亞戰爭過去一年の戰果は實に目覺しいものがあつた、しかも日本は今なほ東亞の平和を撹亂する一切の禍根を絶滅すべく三千年の國威を賭して曠古の大戰を戰ひつつある、しかし今後大東亞戰爭の舞台が那邊にまで擴大しその規模が如何やうに展開を見ようとも畢竟日支關係が正しい解決に立ち歸つて東亞民族の大同團結を見ない限り大東亞戰爭完遂の眞意はあり得ないのであるすなはちこの重要局面を直接支那戰場において擔當しこれが拔本的解決と日支關係の正しい建設とに邁進するわが派遣軍將兵の責務たるや誠に重かつ大であり、同時に無上の誇りをひしくと感ずるものである

（二）われらの敵と盟友の姿

支那事變の大東亞戰爭への發展により東亞平和の確保を期する日本の眞意は愈が上にも明瞭となつたに拘らず、われらの敵殘存重慶政權は米英の使嗾に踊つていよく墓穴を深くし盟友國民政府は中國を米英の爪牙より解放せんがため進んで一切をあげてわれらに協力をしつゝある惟ふに日滿華三國の提携なくして東亞民族の興隆は望み得ない、東亞の安定なくして東亞史の安定なく、これまさしく時代の要求であり歴史の必然であつて日滿華を軸心とする共存共榮こそ東亞本然の姿でありそこに大東亞戰爭の指標がある、しかるに重慶政權は東亞民族の運命を決すべきこの重大なる轉機においてすら未だに米英の頤使に甘んじ東亞の反逆兒としてその悲劇的役割を演じ、あまつさへ便宜的容共政策を捨てず何よりもまづ獨立中國への挑戰者たる事實に氣づかずいはんや東亞民族大同團結への背反の如き全く目を蔽うてゐるのである、現在の重慶政權こそは東亞の公敵であり、これに踊らされつつある民衆は東亞の迷へる孤兒である日滿兩國民が東亞民族大同團結といふ共同の理念に共感し東亞本來の道義に歸つてその眞姿を明かにし來る時、日華永遠の協力體制はこゝにはじめて確立を見るのである、現にわが盟邦國民政府乃至その治下民衆はあらゆる困難なる條件を克服して日本と共に東亞の解放の聖戰を戰ひ日本とともに大東亞新秩序建設に邁進しつゝある、すなはちこの政治、軍事、經濟、文化の各部門における合作はもとより日滿華共同宣言の實を具現すべく新國民運動を活潑に展開し和平反共、建國理念の實踐的訓練に上下をあげての努力を傾注しつゝあるのである、この盟邦の盛みこそ東亞復興の大道に通ずるものである日本があくまで頑迷なる重慶を撃たんとする決意は米英に代つて野望を中國の地に伸べ乃至は東亞の獨裁者たらんとする意圖に出たものでは斷じてなく蝕まれたる中國を再起せしめて共存共榮の盟邦たらしめ、もつて共榮東亞建設の分擔者たらんことを念願する以外何物でもない、もしそれ一旦敵性を拂拭し來らんか、重慶政權下の民衆もまた直ちにわが盟邦の同志たるべきこと支那事變と大東亞戰爭の意義に照らして明瞭である

ル大統領、カナダ首相協議

【ブエノスアイレス六日同盟】ワシントン來電、カナダ首相マツケンジーキングは五日白亞館においてルーズベルト大統領と會見、現下の經濟問題、戰後の經濟問題に關し何事か協議を遂げた

四分間で眞珠灣潰滅
米遂に損害發表
戰艦全部　飛機大半

【リスボン六日同盟】ワシントン來電によれば米海軍省は六日昨年十二月八日眞珠灣において米海軍の蒙つた損害について發表を行ひ日本軍の攻撃の結果當時ハワイにあつた米海軍戰艦八隻アリゾナ、オクラホマ、カリフオルニヤ、ネバアダ、ウエスト・バアージニヤ、ペンシルバニヤ、メリーランド、テネシーの全部ならびに陸海軍飛行機の大半は戰闘力を失ふに至つたと述べ、開戰劈頭米國太平洋艦隊のうけた大打撃を一年後の今日はじめて認めた

甲巡等も損傷
眞相を知つて米國民啞然

【リスボン六日同盟】ワシントン來電によれば米海軍省は六日發表の眞珠灣敗戰被害公表中で昨年十二月八日眞珠灣にあつた米國潜艦艇八隻が日本軍の攻撃の結果戰闘力を喪失した事實を認めた以外に甲巡ヘレナ（一〇、〇〇〇トン）ホノルル（九、六五〇トン）乙巡ローレイ（七、〇〇〇トン）水上機母艦カーチス（八、六二五トン）修理船ヴエスタル（六、六二五トン）が損傷をうけた新事實を公表した

【リスボン六日同盟】ニユーヨーク放送は六日眞珠灣の慘敗に關する海軍省公表の全文を傳へたのちはじめて一年前眞珠灣で何事が起つたかを知ることが出來たと米國政府の頰被り發表政策に不滿を表明し、ついで『日本軍飛行機が現れてから四分後には、ほとんどすべての米國艦隊は對空射撃を開始したのだが、この四分間の遲延のために米國艦隊は撃滅された』と泣言を並べ、さらに結論において次の通り述べてゐる

一年前眞珠灣で日本軍の爆撃によつて叩きあがつた硝煙が霽れたときには太平洋艦隊は脊髓を撃碎されて殘骸を横たへてゐたこれは米國史上空前の軍事的破局であつた

國恥記念日
米、生産狀況報告

【ブエノスアイレス六日同盟】ワシントン來電＝米國戰時情報局は十二月七日の『國恥記念日』を迎へるに當り、六日開戰以來一ケ年間の米國軍需生産狀況に關する次の如き報告を發表した

米國の軍需生産は開戰一周年を迎へる今日今やその全機能を發揮しつゝあるが、一九四三年においてはさらに偉大なる成績を擧げることが期待される、開戰一ケ年は聯合國對樞軸國の生産競爭の一ケ年だつたのであり聯合國はこの一年において樞軸國がその長き準備期間に達成した軍需生産力に追ひつきかつこれを凌駕せんとしたのである、この生産競爭においてはほゞ所期の成果を收め、聯合國はすでに敵國の生産力を凌駕しはじめつゝあるが、この競爭の前途はいまだ遠く最終の決勝點に達するまでにはなほ幾多の困難を克服しなければならぬ、この一年間に米國の工場が聯合國のために生産した額は飛行機四萬九千、戰車および自動車、砲車三萬二千、口徑二十ミリ以上の高射砲一萬七千、商船八百二十萬トンである、しかしてこの軍需生産のために米國が費消した戰費は四百七十億ドルの巨額に達した、しかしながら明年の米國軍需生産計畫はさらに一層大きな生産を目標としてゐるのであり、米國は一九四三年には本年の生産額を超ゆること二倍乃至三倍の生産を擧げる豫定である

敵の大船團急襲
ビルマ陸鷲　敵の企圖粉碎
印度東部

【ラングーン六日同盟】わが陸鷲の精鋭部隊は五日チツタゴン港附近海上において敵の大船團を急襲したが、右敵護送船團は一千五百トン乃至二千トン級船舶廿隻、五百トン級小型艦艇廿隻合計四十隻から成るもので巡洋艦一隻、驅逐艦五隻に護衛されて西方よりチツタゴン港に向ひその一部はすでに同港に到着他は上流航行中であつたものを各所に爆撃したものである、わが攻撃に慌てゝ逃げる小型艦船に猛爆を加へ一千五百トン級二隻に直撃彈を見舞ひ同級六隻に彈を浴びせ更に港灣施設にも直撃彈を浴びせまたハリケーン戰闘機一機を確實に撃墜した、なほ今回の敵の企圖は印度東部における兵力の強化を急ぎつゝある證左であり、わが方の航空部隊内で試みつゝあるかゝる敵の動きに對し今回わが航空部隊がこれを急襲猛爆を加へたことは、最近敵が繰返し宣傳しつゝあつた如く處一ビルマに對する反撃を企圖する場合これを徹底的に粉碎する準備のあることを敵に知らしめたものである

帝都の記念日

【東京電話】宣戰の大詔を拜して一年、大御稜威のもとに皇軍將兵の勇戰奮鬪と銃後一億國民總力の團結とによつて世界戰史に輝く大戰果を收めいよくあすは記念すべき十二月八日を迎へる帝都では午後二時より大東亞戰爭一周年記念國民大會中央大會が靖國神社において開かれ東條首相が米英擊滅の帝國不動の決意を闡明するほか同夜六時よりは日比谷公會堂に記念大講演會が開かれ谷萩陸軍報道部長、平出海軍報道部課長の講演が行はれるほか一周年を記念すべき各種の行事が一齊に開かれ一年前のこの日の感激を再び新たにし大戰第二年目に勝ち拔く決意を誓ふこととなつた

敗殘聯合軍の掃蕩戰を續行
樞軸軍戰果を擴大
チユニジヤ戰線

【リスボン六日同盟】チユニジヤ西北地區に於て聯合軍を擊破した樞軸軍は敗走する敵軍急追の手をゆるめず、一方タブルバ、ドジエデイダ地區においては敗殘の聯合軍に對して掃蕩戰を續行、さらに戰果を擴大してゐる、一方聯合軍も增援部隊の到着を待つて陣形を樹て直し反撃の機會を狙つてゐる模樣だが、六日リスボンに達した戰況概ね左の通り

一、タブルバ、ドジエイダ地區が樞軸軍の手に歸したのち、同方面の戰闘はチユニジヤの西方約二十哩の地點に移つた、同方面で樞軸軍に擊破された聯合軍の兵力は步兵師團一、英戰車師團一、米機甲師團一および米戰車師團の一部といふ大兵力だつたことが判明、うち一部は完全に殲滅され、また辛うじて殲滅を免かれた部隊も非常な損害を受けたと傳へられる

一、一方チユニジヤ地方中部ならびに南部地區においても各地において兩軍の衝突が報ぜられてゐるが、いづれも前衛部隊間の小競合の域を脱せず、目下のところ大規模な戰闘はチユニジヤ西北地區に限られてゐる樣子である

一、チユニジヤ戰線においては空軍勢力は依然として樞軸軍が優勢であり、特に獨急降下爆擊機はしきりに聯合軍の後方兵站線に猛爆を加へるとともにアルジエリヤ領内にまで出擊してコンスタンチーヌはじめ聯合國の補給地に爆彈の雨を降らせてゐる

聯合軍北阿方面に空軍司令部設置

【リスボン五日同盟】北阿聯合軍司令部は豪洲方面米空軍司令官カール・スパーツ少將が北阿方面聯合軍空軍司令部を設置するため北阿に到着した旨五日發表した、これと同時に北阿聯合軍司令官アイゼンハウアーは新空軍司令官の任命に關し次の通り語つた

スパーツ少將は戰略方面を擔當しドウリトル少將は專ら實戰の指揮に當ることとなつた

反樞軸空軍ナポリ攻撃

【リスボン七日同盟】反樞軸空軍部隊は六日リール地方の軍需工業地帶ならびにオランダ各地を爆擊したと傳へられる、また米空軍の重爆撃機編隊は北阿の空軍基地からナポリ軍港を爆擊したと傳へられる

米戰艦進水

【リスボン六日同盟】ワシントン來電によれば米新造戰艦ニユージヤーシー（四五、〇〇〇トン）は六日米國東部海岸地方の某造船所で進水したといはれる、ニユージヤーシーは十六インチ砲二十門を裝備し、僚艦アイオハ、ミズリーなどとゝもに、一九四四年完成の豫定で起工されたものである

勝ち拔く實踐へ
開戰一周年を迎へる覺悟
小磯總督、方向明示
局長會議

定例局長會議は一日繰上げられ七日十時から開催せられたが、總督は總監から約一時間半にわたり行政問題の深刻な指示、注意が詳細に及んでなされ、この職關係が議せられた、次で次の各局長所管報告があり、最後に小磯總督から明八日大東亞戰記念日を迎へるに當り感激を新にして第二年を勝ち拔く實踐に進まれたい、そこにおいて官、農一般實業家各方面に對し前途に光明を抱かせる如く、施策をなし完勝に邁進しなければならぬと大戰下二年目の指導官僚の方向を明示した結語があつた

江口總務局長　貿易輸送會議について

大野學務局長　朝鮮奨學會近況について

石田遞信局長　生擴運動に關して慶南視察の報告

森會計課長　平壤に建設中の第二志願兵訓練所について

倉島文書課長　各種の文書の處理迅速化について

兵頭企畫室長　最近の鐵資材の狀況について

美根監察課長　生擴、農報運動全南北視察の報告

新貝司政局長　朝鮮軍司令官より朝鮮神宮へ神馬獻納がある、江原道視察報告

零時四〇分終了した

商工辭令（七日附）

企業局工政課長　福田茂正

纖維局絹毛課長　商工書記官　緒方伊平

命企業局工政課長

遞信辭令（七日）

高等商船學校教授　小方愛郎

任海員養成所教官（三）宮崎海員養成所長を命ず

任海員養成所教官（四）大阪商船海員養成所長を命ず　田口卯三郎

賀陽宮邦壽王殿下
御成年式の御儀

賀陽宮邦壽王殿下御成年式【御寫眞は宮邸にて謹寫】＝謹寫恐

【東京電話】賀陽宮恒憲王殿下第一王子賀陽宮邦壽王殿下には本年御目出度く御成年に達せられ七日宮中において御成年式の御儀を行はせられた、この日殿下には午前九時十分宮内省差廻しの自動車に召させられて、麹町三番町の御殿を御出門、陸軍御正裝に勲一等旭日桐花大綬章を御佩用の御姿も御凜々しく御參内遊ばされた、これよりさき、賢所に三條掌典長以下奉仕して嚴かなる御儀が執行され、掌典長祝詞を奏し奉れば、殿下には御袍服にて賢所大前に御參進、掌典長御冠を加へ奉り、殿下には恭しく御拜禮、御告文を奏せられて晴れの御儀を終へさせられた、ついで皇靈殿、神殿に謁するの儀を行はせられ、同十一時三十分再び御軍裝に御服を正させられて鳳凰間に御參進、天皇、皇后両陛下に朝見の儀を行はせられ、兩陛下に御對顔、天皇陛下には優渥なる勅語を、皇后陛下には御言葉を賜ひこゝに御滯りなく御成年式を終へさせられ御機嫌麗しく宮中を御退下、御歸邸あらせられた

ム伊首相、日本記者團と會見
讃ふわが光榮の日
眉間に漲る決意の色

【ローマ五日同盟】日本の參戰一周年を機會にムツソリーニ首相は特に日本人記者團と會見することになり四日がその會見日と定まつた、イタリーの參戰以來ムツソリーニ首相は一切外國記者團とは會見を行はず、今回の日本人記者團との會見は全く異例のことだ、所定の午後六時記者は戰時イタリーの神經中樞たるベネチヤ宮に足を踏入れた、警備兵の捧銃に迎へられ幅の百數十段もあるゆるやかな階段を昇りペロニーズその他の名畫に飾られ昔のまゝに敷石を施した第一階に通された、ここは古雅壯麗な館でイタリー政府首腦の官邸に相應しい落付と威嚴をもつてゐることを改めて痛感した、最初ムツソリーニ首相の事務室たる北端のサラ・デラ・マツパモンド（地球儀の間）までには大小約十二の部屋が續く、それぐあるひはルネツサンスの名畫をもつてあるひは十三世紀のマジヨリカ燒陶器をもつて、あるひは中世の鎧兜、劍類で飾られてゐる感を降てゝ正面は有名なベネチヤ廣場である、その右手はエマヌエーレ三世記念堂と無名戰士の墓を含む祖國の祭壇が白大理石の光まばゆく聳えてゐる、その背後は二千年の昔のローマの偉業を誇るロマン・フオルムの跡である、わ待たされると廿分、おそらく本日公表されたイタリー、ルーマニヤ通商協定の報告を行つてゐたものであらう、われくよりさきにムツソリーニ首相と會見してゐたリツカルデイ爲替相が首相の事務室から現はれて來た、黑色の中世風制服に水色の折返し襟が目立つ、取次役がフアシストの擧手の禮をしながら『さあ、どうぞ』とわれわれをサラ・デラ・マツパモンドに招じ入れる、地球儀の間と呼ばれる所以は世界最初の地球儀がここに置かれたことに起因するよし、部屋は非常に大きい、入口から向うの端まで二十メートルはあらう、その端にム首相の事務机がある、机の上にはローマ帝國の象徴たる鷲の大理石像が戰勝を象徴するかのごとく勇しい姿を見せてゐる、われわれくが入るやム首相は起つて机の前まで出て來て挨拶される、今日は紺の背廣に鈍灰色のネクタイといふ平裝である、われくの挨拶に對しム首相はつぎのごとく述べた【寫眞＝ム伊首相】

余は米國にとつて哀悼の日であり諸子の國日本にとつては光榮の日であるこの記念日を迎ふるに際し、日伊兩國間の共感を再強化することは是非とも必要であると信ずる、余は諸子が大東亞戰開始以來歷史的勝利をもつて米英を壓迫した日本の偉業の重要性を知悉するものであることを東京に、否日本全國民に傳へられんことを希望する、さらにまた余は諸子の祖國日本の勝利として絕對の信賴をもつものである、同じく勇武なるイタリーの戰士はこのよき盟邦と相提携して光榮ある戰勝の日まで戰ひ拔くであらうことを全日本國民に傳へられんことを希望してやまぬものである

と語り續けるム首相の顏色は艶色でその特徴のある眼は常に鋭らず元氣さうだ、少人數であるためその聲はあまり大きくはないがその話ぶりはいつもの通り明晰な一語一語をはつきり胸へ付ける調子でわれくの顏を一々見廻し乍ら語葉をつゞける『米國が』といふところへ來ると、さなきだに大きな目を一層大きく開いて對米戰の決意の固いことを窺はせる、われわれは首相の永くはないが明白な語葉に日本に對する變らざる親愛の意と對米英とあくまで戰ふといふ固い決意を讀み取つた、記者はム首相があらゆる困難と戰ひつゝある元氣な姿を眼の邊りに見、その決意のほどを日本の讀者に傳へる愉快な興奮にかられつゝベネチヤ宮を後にしたのである

必勝の地步確保
開戰一年　大島駐獨大使語る

【ベルリン五日同盟】大島大使は八日の大東亞戰爭一周年を記念し五日デーエヌベー通信記者に對し新秩序建設に邁進する日獨伊三國の決意を強調な事實を指摘しつぎの如き談話を試みた【寫眞＝大島駐獨大使】

一年前日本は米英兩國の執拗にして計畫的な挑戰の結果つひに武力をもつて起つの已むなきに至つた、米英兩國との關係を明朗化し和協を成立せしめんとする日本政府の公正な態度を米英兩國は軟弱政策の結果と早斷し壓迫と脅威を加重し來つたゝめかゝる事態の發生は回避し得なかつたのである、日本帝國の宣戰の理由は畏くも昨年十二月八日渙發し給うた宣戰の大詔によつて炳乎として全世界に瞭かにされてゐる、大東亞戰勃發より三日後獨伊兩國もまた米國に對し宣戰を布告し日本との紐帶を更に一層強靭にして戰爭遂行と新秩序建設に邁進する確固不動の決意を表示した、共通の理想と共通の戰爭目的によつて結ばれた日獨伊三國はその後ますます提携を緊密にしてゐる

も歐洲でも正義と自由の實現のための神聖な戰爭が進展してゐるので日獨伊三國とその盟邦の勇敢な將兵はこれまでの數多の戰闘において世界に並びなき武勇を振つた、さらに前線の將兵の戰果に呼應して銃後の國民も偉大な業績を成し遂げてゐる、占領地ではすでに巨大な建設事業が進められてをり、日獨伊三國ならびにこの盟邦は歐洲ならびに大東亞において不敗の地步を確立した

われくは今次戰爭を武器の鬪ひと考へるばかりでなく、世界を正義のもとに立たしめんとする精神の鬪ひと見做し世界新秩序の建設といふ至高の目的達成のために鬪ひこの目的達成のため樞軸各國民を固く團結せしめんと全力を傾注してゐるのだわれくはこゝに再びわれくの偉大な使命に對する忠誠を誓はんと欲する、われくはこの世界的規模の鬪爭のみが日獨伊三國の世界史的結合を不斷に强化されつゝある相互間の信賴と協力により最後の勝利を勝ち得るであらうこと、すなはち一丸となつて戰ふ團結のみがこの鬪爭の結果を決するものであることを常に銘記せねばならぬ、戰爭はいよく激烈となるであらう、しかし最後の勝利は必ずやわれくのものとなるであらう、神の攝理は正義のために一切を犧牲に供するものゝ側にあるのだ

今や歐洲は獨伊兩國の指導のもとに眞實の社會の實現と新しき秩序の建設のために鬪つてをり、大東亞は日本の指導のもとにこの地域におけるあらゆる民族を八紘一宇の精神によつて結合すべく戰つてゐる、大東亞戰はこれからだ。

時の錄音

◇眞崎長年氏（朝鮮木材統制社長）七日〝あかつき〟で歸城

◇林繁藏氏（鮮銀頭取）九日午後十一時十分發東上

消息

あす、感激の大東亞戰爭一周年記念日。
×
輝かしい歷史の日、我等また感激にこの日を迎へん。
×
偉大なる戰果と燦然たる建設のあとを偲べ。
×
そして、明日への必勝態勢を愈よ固めるのだ。
×
開戰以來半歲の戰績の數二百八十一機に及ぶ。
×
銃後半島の愛國の至情にこゝに結晶せるもの。
×
更に飛ばせ、愛國の翼。決戰はこれからだ。

斷じて勝拔くぞ！
童心、熱誠の叫び
けふ、小國民決戰大會

第二年目も勝ちぬかう——と本社が小國民に呼びかける『大東亞戰爭一周年記念小國民決戰大會』は七日午後一時から京城府民館で京城師範福永少佐、海軍武官府松本大佐の臨場を得て府内南大門、鍾路國民學校ほか五校學童千八百名参集して開催、定刻國民儀禮の後高橋本社出版局長挨拶のうち福永少佐、松本大佐は交々壇上に起つて分り易く時局を說き『斷じて勝ちぬくべし』と幼々の氣魄を植付ける、續き魂も熱國の熱誠に高潮し、皇軍への感謝決議文朗讀、直ちに陸海軍大木大將にそれぞれ打電、陸海軍への感謝をこめる花束は水川勝朗君(南大門校)天野榮子さん(鍾路校)兩名から福永少佐、松本大佐へそれぞれ贈呈され、拍手の嵐が起る

記念演奏は京城師範附屬第一、第二國民學校男女三百名出演の嚴肅な齊唱と吹奏樂に始まり『少國民の歌』他七曲、お話、戰爭漫畫合戰、舞踊、映畫に爆發的な歡聲を盛つて同四時終了した【寫眞＝小國民大會全景】

柔道新昇格者

朝鮮研武館の第廿二回柔道昇段進級試合は去る十一月廿九日、百三名の参加で擧行、その結果により左の昇段進級者を決定し來る十四日午後七時から幸松町同道場でこれが昇段式並に證書授與式を行ふ

五段金成坤▲四段申載鎬、金或春、天谷久雄▲三段成吉濟▲二段金源東、田種變、清原武雄、江越道雄▲初段李光毅、鄭元濬、松本律雄、金鍾洙、崔謙斗、趙信煥、咸仁燮、印孝鎭、李康元、永村秀德、山本鎭昌、閔丙雲、金弘善、西原舜義、國本周一、德泉誠昭、相川勇治、鈴木悅夫、木村賢一郎、西原義雄、竹村星洞▲一級一一名▲二級一五名▲三級七名▲四級一八名▲五級九名▲六級一三名

學徒へお米增配
當局、發育盛りに親心

次代を背負つて起つ伸びざかりの學生々徒に一月からお米が增配されます、決戰下における食糧の確保は必勝の要因であり、銃後の一般國民は配給量の僅かな減配くらゐ進んで甘受し國策の遂行に協力するていの覺悟は充分出來てゐるが、次代を背負つてたつ發育最盛期にある學生生徒の體位に影響があつてはならないので京畿道では體位の向上に必要なだけの食糧は高職を排して配給、長期決戰に邁進させようとの親心を示した、今後は現在の配給量より男學生が三升、女學生が二升とそれぞれ增量され增量分の實施は各學校別に行はれる

なほこれに伴ひ從來大人と同樣一人分の配給を受けてゐた六歲以下の小兒に對する配給量は或る程度規正されることになつた

獎學會卒業生
會社側懇談會

朝鮮獎學會では半島人內地各大學專門學校昨年來の卒業生と雇傭各會社側との懇談會を六日午後二時から總督府第一食堂で開催した、主催者側から理事長川岸中將、來賓として總督府大野學務局長、林勞務課長、京畿道野田社會課長、本田視學官、總力聯盟倉田宣傳部長ら出席し、會社側代表十餘名、卒業生男女百餘名が参集、川岸理事長、大野局長、津田宣傳部長交々に起つて勵勵の辭を述べれば、卒業生一同から現在の職場に對する各自の感想を述べ、さらに挺身奉公を誓つて和氣靄々のうちに六時過ぎ終つた

元山府	三一三、〇〇〇
咸興府	二〇〇、〇〇〇
清津府	三四三、五五〇
羅津府	四四、九〇〇
城津府	九三、〇〇〇
計	八、六〇六、一〇〇

たゞ今歸りました
"軍神の生家"訪問の旅終へて
學童使節元氣で歸る

在りし日の軍神の偉を嚮ね中國に或ひは九州の山野に軍神生家訪問の旅を終へた"學童使節團"あかつき"一行は七日午後二時着の"あかつき"で晴れの歸城をした

驛頭には本府、道、府の關係者、濟洞、師範附屬の兩國民學校兒童その他有志多數の出迎へがあり、使節團一行の長途の勞を犒つたが

使節學童は未だ感激の感慨醒めやらぬ頬を紅潮させ"只今歸りました"と元氣な姿で出迎への人々と挨拶を交し、引率者井本校長は一同を代表し次の如く挨拶した

內地訪問ではあちらの方々に種種御骨折りを頂き私共一同誠に感謝に堪へない次第です、學童全員百六十萬の學童を代表して軍神の生家を訪問出來ましたことをこの上ない名譽と喜びます、軍神の慾から見る山に草木の茂つてゐること、內地の人々が旅館の女中さんに至るまで、實に親切なことには驚きました、田上、片山兩兵曹長のお母さんから聞かされた日本精神、即ち大君のため、御國のため、子供がいゝ死場所を得たことはみな神佛のお陰ですといふ言葉を聞いた時には下つた頭が上りませんでした、歸つたらこれらのことをみんなお友達に傳へて軍神のあとをつぎ立派な國民になりたいと思ひます

朝鮮名産 人蔘精茶

も軍神の少年時代を深く胸に刻み明日の日本を擔ふ決意を固く誓ひ合つて居ります

金田泰東君(平北代表)

"徵兵の感激"鵬翼に
若人號陸、海軍に献納

半島青年の中核體として榮えある徵兵制めざして熱血の鍛成を傾けつゝある朝鮮青年隊三百萬の若人はさきに徵兵制の感激を飛行機にのせてこれを献納すべく申合せて、目下的に共同耕作地、生產增產作業手傳ひなどに挺身、勤勞奉仕をつゞけてゐたが、十二月八日"を迎へて目標額十六萬円にほゞ到達、いよいよ一月十九日の青年隊創設二周年記念日にはこれが全額をまとめて陸海軍に〇〇機宛、半島若人の赤誠をのせた献納の手續きをとることとなつた

さあ、全額攻略だ
けふ貯、報債賣出し

七日から師走の街に一千五十萬円の貯債と報債が賣出される、御稜威われの心意氣も新に迎へる八日の半島二千四百萬民の感激はその赤き戰場にむけられ、國債は彈丸だ父が子が敵に浴びせる彈丸だと嬉しい戰與は力強い府民の赤誠となり國債消化が窓口に繰展げられるなほ全鮮主要都市別割當左の通り

【寫眞＝ポスター】

京城府	円、三六三、〇〇〇
仁川府	一八二、〇〇〇
開城府	一四一、〇〇〇

大東亞戰爭一周年記念 あの感激を國債・債券へ 貯蓄債券 報國債券

大戰一周年と我等の心構へ
（到着順）

醫學徒の責任重大
城大醫學部教授 小林晴治郎

私は醫學を專攻するものとして醫學青年學徒に奮起を要望したい、感謝なる皇軍による戰果として我が支配下にある南洋の地には從來マラリヤ、ペストその他熱帶性疾病及び熱帶風土病等の豫防撲滅に三十餘名の米英個人の專門家とこれに隨從する實地家があつてこれに當つてゐたが、今後はわれわれがこの仕事を引受けるわけである、從つて吾等醫學徒の責任は重大なものがある、しかも立派に一人前の責任を果す專門家となるには並大抵の努力と研究ではむづかしいその意味で青年學徒は從來のやうな學究態度のみでなく科學の兵の氣持で一段の國民的自覺を強くして奮起、御奉公を全うして欲しいと願ふ次第である

職場奉公の誠を盡せ
朝鮮金融組合聯合會長 松本誠

大東亞戰爭が勃發してから一周年時局の認識は一般によく浸透しつつあるが、しかし一部の階級には自由主義的な考へを脫却し奉公の誠ろ職域奉公に就ていらくして尠るやうに見受けられる現狀で、各自がただ自分の立場のみから職域に熱心の餘り相當の摩擦を生ぜしめてをる向があるのは誠に遺憾に堪へない、苟くも指導階級にある人には一應各自の職域的觀念を超越して國家の要請がどこにあるか民衆の福祉を圖る上に如何にすべきかを認識の上その指導を誤らないやうにしたいものである、一時の感情に捉はるゝことなく、また自分の立場さへよければよいといふ

絕滅せよ"闇行爲"
東一銀行頭取 金思演

大東亞戰爭一周年記念日を迎ふるに當り我々銃後國民の最も心すべき點としては戰時生活における道義心の昂揚を徹底させることです、先づ大東亞戰爭が我が國民に取つて如何なる戰であるかを究明して石に嚙りついても勝ちぬくために國民各自が火の玉となつて職域完遂に邁進すべきと若し...誠を盡すならば銃後國民の協力も如何に...なものとなるであらうと思ふ、一致協力による...擧揚これこそ時局を乘り切る道であると信ずる

株式
強硬
思惑を排除 必勝へ邁進

前場 大東亞戰開始以來一週年、わが陸海軍と共に勝利を周けて武威益々揚戰において は未だ樂觀を許さない不敗の地位を占めてゐるものがある、米は率原料資源國である、それの今日でもなほ認め得る、しかしまた戰略的な重要資源に一番窮してゐる米である、米の戰力に著しく不足を招來し勞働力も相當の困難を來狀態であるが、一方生産は政府の強制手段によつて著しい立運れから漸次立直りの編成替も着々進捗してゐるやであるから、われらとしても油斷なく敵の今後の生産力に眼を離してはならない、この秋に當り市場としては生產擴充資金の円滑な調達機關として邁進せねばならぬ勝拔くためには思惑を排除し健全な株價を構成することがまづ必要である、これらの總意の現れとも言ふか短期新東百一、二円臺往來、新鐘七十五円廿錢、高周五十四円と諸株とも大體堅硬な材を呈した

後場 (軟弱) 上値は抑へられるるので警戒氣分が先立ち新規買は躊躇され新東百一円四十錢新廿七円十錢、新鐘七十五円四錢とそれぞれ一、五十錢方軟弱示し立ち上る氣力に乏しかつた

實物＝保合

劣以下に叩かれた將來性のある資株には採算本位の買物ある反弱體株は處分的な賣物あり、大勢的には區々商狀ながら總體的には保合ひ商狀を呈した、その主なる出來値左の如し

朝鮮水力八八九、八十九〇、〇〇▲朝新三〇、三一五▲龍工新三四〇一三、五▲小林六七、八一四三▲朝鮮製錬二八、七一六▲熱河三、五一三▲三菱重工新五三▲不二越新五〇、三一一

後三國志 出師の卷 (24)
（吉川英治作）（矢野橋村繪）

改元 (一)

獻帝はまだ御齡三十九歲であつた。九歲の時、董卓に擁立されて、萬乘の御位について以來、業火亂箭の中に幾たびか遷都し、蒲柳の御身に祕めて、漸く後漢の朝廟に許都に遷して、漸く後漢の朝廟の日は來ても、曹操の專橫はやまず、魏臣の無禮、朝臣の弱體、朝はあつて無きが如きものだつた。

およそ天の曆數の薄かつたことは、東漢の歷代中でも、この獻帝ほどな方が少いであらう。その御生涯は數奇にして薄幸そのものであつたと云ふほかはない。

しかも今また、魏の臣下から、臣下として到底口にもすべきでない事を強ひられたのである。御臨のうちこそどんなであつたらうか。

帝も元よりそのやうなことを、御臨に御承諾になるわけはない。

『朕の不德は、たゞ自らをうらむほかはないが、覲不才なりといへ、を續いだり遊ばさぬやう御注意申しあげる』

などと言語道斷な得手勝手と、そして半ば、脅迫に似た言をすら弄んだ。

然し、帝はなほ頑として、

『祥瑞、天象のことなどは、みな取るにも足らぬ浮說である。虛說である』

と、明確に喝破し、

『高祖三尺の劍をさげて、秦楚を亡ぼし、朕に及ぶこと四百年。何で輕々しく不朽の基を捨て去らんや』

と、飽まで彼等の佞辯を退け、依然として屈服遊ばす色を示さなかつた。

だがこの間に、魏王の威力と、その黃金の力や榮爵の誘惑は、しんしんとして、朝廟の內官を腐蝕するに努めてゐた。さなきだにも、う心から漢朝を思ふ忠臣は、多くは已き跋に入り、或は野に退けられて、僅のあひ、又は老いさらばへる人物といふものは全く居なかつた。漸々として、魏の權勢に媚び震ひ怖れ、朝臣であらながら、魏の鼻息のみ窺つてゐるやうな者のみが殘つてゐた。

それかあらぬか、近頃帝が朝へ出御しても、朝廷の臣は、文武官とも、姿も見せない者が日にま